令和８年度　第２回　金指小学校運営協議会　会議録（要点記録）

１　開催日時　　令和８年９月９日（水）14 時から 15 時 30 分まで
２　開催場所　　金指小学校 さかみちホール
３　出席委員　　高須 俊二、山本 繁夫、岩崎 美千代、石原 彰浩、髙木 克芳、
　　内山 康子、巨島 信慶、浅井 多恵子、河西 真妃
４　欠席委員　　黒瀬 憲太郎
５　学　　校　　前田 一成（校長）、柳田 葉子(教頭)、
　　清水 康代（ＣＳ担当教員）、入手 佑香(ＣＳディレクター)
６　傍 聴 者　　１人
７　会議録作成者　　ＣＳディレクター　入手 佑香
８　議長の選出
　内山委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員意義なくこれを承認した。
９　協議事項
　(1) 金指フェスティバルについて

10　会議記録
　司会の教務主任から、委員総数 10 人のうち９人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 金指フェスティバルについて
　議長の指示により、教頭から金指フェスティバルの概要について説明があった。また、当日協力いただきたい内容について、４年生から６年生の代表児童と１・２年生については教員から協力の依頼があった。
　子供たちからの協力依頼と具体的な内容の説明を受け、ＣＳブースの設置の可否と内容について検討するとともに、児童ブースのボランティア配置について、委員の方から以下の発言があった。

① ＣＳブースを作るか。作る場合には、どのような内容にするか。
・　保護者や地域の方々に「コミュニティ・スクールとは何か」を分かりやすく紹介し、理解を深めていただくためのブースがあるとよい。(内山委員)
・　ブースの作成には賛成だが、あまり大掛かりにならないように、コンパクトなものを作成してはどうか。(山本委員)
・　ブースの内容については、コミュニティ・スクールの目的の説明や、委員の活動内容を紹介する写真掲示と補足説明を中心に構成してはどうか。
(山本委員)
・　掲示だけでなく、委員の活動内容や子供たちとの関わりについても紹介する便りを作成し、配布してはどうか。便りを通じて家庭においてもコミュニティ・スクールの取り組みについて理解を深めてもらいたい。(巨島委員)

・　工具等を使用する際の安全面に関する協力体制については、ＰＴＡにも依頼しているのか。ボランティアの人数が確保され、協力体制が整うのであれば、ＣＳブースの設置を検討してもよいと思う。（高須委員）
・　ＰＴＡの方々には、９月 16 日（水）のＰＴＡ全体委員会の際に、金指フェスティバルの内容および安全見守りの人数等について説明する。（教頭）
・　ＣＳブースでの説明などに人手が必要な場合は、ＰＴＡ全体委員会の中で、保護者の方にボランティアとして見守りの協力をお願いすることができる。（教頭）
・　ドリルの使用について、ＰＴＡ役員は女性の方が多く、知識や経験がない方もいる。そのため、ドリルの安全見守りについては、知識や経験がある方にサポートをお願いしたい。（浅井委員）
・　ＣＳブースを作成する場合は、写真などの資料が必要となる。そのため、学校の協力が不可欠となる。写真だけでなく、補足説明を添えたブースにしてはどうか。（石原委員）
・　ブースを作成する場合、委員が集まる機会を設ける必要がある。委員が集まれる時間を確保できるかどうかが課題となる。（髙木委員）
・　保護者や地域の方々が、コミュニティ・スクールについて理解を深めるとともに、委員の活動内容についても知っていただくためのブース内容がよい。（髙木委員）

・　協議の結果、ＣＳブースを作成することに決定した。ブースの作成日時などの調整については、山本会長に一任された。また、写真や模造紙などの資材については、学校側が準備することになった。

②　児童ブースのボランティアの配置決め
・　児童ブースのボランティア配置は、ＰＴＡの協力を得ることができた。また、各学年に必要なボランティアについては、ＰＴＡの役員の方々に担当してもらう予定となった。
・　委員については、ＣＳブースや各学年のブースを盛り上げ、参加者が楽しめるように全体の雰囲気を盛り上げることになった。

12　報告

学校運営コーディネーターの内山委員・髙木委員から９月４日に行われた研修会について報告があった。

13　その他連絡事項等

司会から、第３回学校運営協議会は、11 月５日（木）午前９時 30 分からさかみちホールで開催する旨の報告があった